



平成 29 年 1 月 11 日

各 位

会社名 株式会社トーヨーアサノ
代表者名 取締役社長 植松 泰右
(コード番号 5271 東証第 2 部)
問合せ先 取締役管理本部長 杉山 敏彦
(TEL. 055-967-3535)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 4 月 15 日付けで公表した平成 29 年 2 月期（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）の通期の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正について

平成 29 年 2 月期通期（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,000	360	270	140	11 30
今回修正予想 (B)	14,800	100	30	35	2 82
増減額 (B - A)	△ 200	△ 260	△ 240	△ 105	—
増減率 (%)	△ 1.3	△ 72.2	△ 88.9	△ 75.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 2 月期)	13,997	283	182	88	7 18

2. 修正等の理由

(連結)

売上高につきましては、コンクリートセグメント事業の生産は順調に推移したものの、コンクリート二次製品事業のコンクリートパイル製品出荷量は、受注残や営業活動状況を勘案して通期業績予想を据え置いた、平成 28 年 9 月 30 日の業績修正発表時の数値に対して、施工予定であった物件の工期変更や協力会社の施工重機確保が困難な状況が重なり当期中に受注をこなすことが難しい状況であり、前回予想を若干下回る見込みであります。

損益面につきましては、コンクリート二次製品事業および工事業において、販売単価は一定の水準を維持しましたが、売上高の項で記載した要因により下期見込んでいた製品販売数量が予想数値まで達しなかったこと、工事業における施工品質を確保するため施工日数が増えたことによる施工費の上昇、および施工管理の厳格化による人件費を主としたコストの上昇が当初の予想を大幅に上回ったため、営業利益・経常利益および親会社株式に帰属する当期純利益は前回予想を大幅に下回る見込みであります。

※ 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上